

題材名「地しん活動による変化」

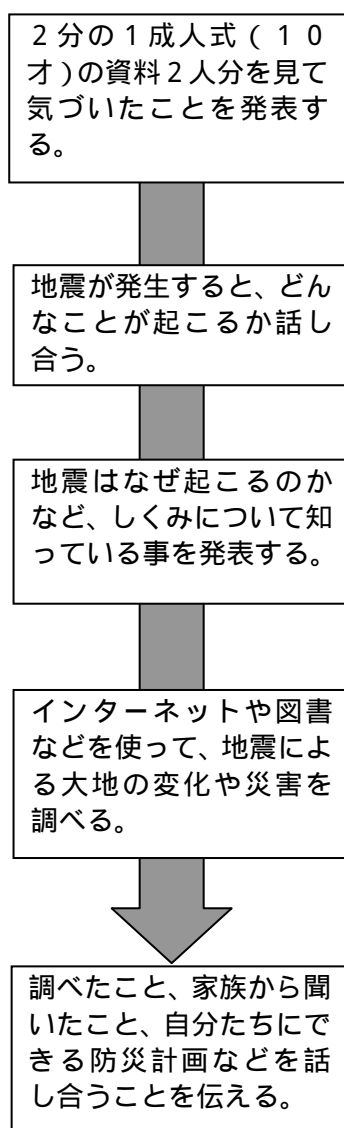
目 標

- ・日本は地震が多い国であるため、土地の変化や災害に関心をもつようにする。
- ・阪神淡路大震災の資料などを活用して、地震による大地の変化や災害を調べるとともに、自分たちでもできる防災対策を考える。

コンピュータを活用する利点

- ・地震の様子やしきみなどについて、基礎的な理解の手助けとして動画を活用することで、容易に理解することができる考える。
- ・多くの事例や説明を活用することで、基本的な学習内容の定着が図れると考える。
- ・大切な資料も情報機器を活用し複写複製することで、気軽に活用できる。

授業の流れ



ICT活用場面

- ・「2分の1成人式(10才)」の資料A・Bを用意。資料Aは文字と絵の資料、資料Bは写真の入った資料で、A・Bとも阪神淡路大震災を経験した児童の資料であることを伝える。阪神淡路大震災では10才までの写真を始め、様々なものが失われたことを知らせるとともに、Bの写真は本人の数少ない貴重な写真であるが、スキャナーを活用すれば写真などが複製できることを知らせる。

- ・阪神淡路大震災のニュース映像等をプロジェクタで提示する



校区の写真



- ・阪神大震災では、どんな変化がみられたのだろうか。
いつ、どこで、どれだけ大きな地震が起きたか
地震が起こるしきみについて
地震によって、大地はどのように変化するのか

<http://www.e-quakes.pref.shizuoka.jp/why/a-02.htm>

なぜ、地震が発生するのか
校区の災害の様子は
家族の人への聞き取り調査
災害資料の収集

成果と課題

本校独自の阪神淡路大震災の資料は散逸してしまっているため、保護者を始め地域の方にもお願いし、校区の阪神淡路大震災の記録をデータベース化できるように、今後も継続的に取り組みたい。

ICT活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン1台、プロジェクタ スキャナー
使用ソフト名	Internet Explorer
使用教室	普通教室